



(株)伊藤工務店通信 夏号 (第45号)
(2016年7月)

発行責任者 高橋 衛 (営業担当常務)
株式会社 伊藤工務店
三重県伊勢市河崎1-11-4
Tel (0596) 28-9266 Fax (0596) 25-1246
E-Mail: info@ito-corporation.co.jp
HP URL: http://ito-corporation.co.jp



伊勢志摩サミットを終えて



5月20、27日の2日間にわたる伊勢志摩サミットが大きな混乱なく全ての日程を終え、無事に幕を下ろしました。
1年前、本紙上でも開催が決定し、「我々三重県(民)のまきに腕の見せどころ」と書かせていただきました。
各国首脳や関係者をおもてなしできたこと、また、テロや事件など大きな混乱なく終えられたことは、日本(国民)や三重県(民)の力(腕)を十分に発揮できたことの表れなのではないでしょうか。

しかし、三重県民の本当の意味での「腕の見せどころ」はこれからが本番ではないでしょうか。
サミット本番終了までが、第1ステージとするなら、終了後のこれからが第2ステージの始まりです。
サミットの語源は、「頂上」を意味する英語「summit」からの外来語で、ラテン語で「最高」を意味する「summus」に由来します。

今回、「伊勢志摩サミット」と銘打たれました。単純に訳せば「伊勢志摩頂上」または「伊勢志摩最高」となります。
これから国内外を問わず今以上に多くの人々が、この伊勢志摩の地を訪れることと予想されています。その人々に、「最高」と思っていただけじゃなく、我々がおもてなしの「頂上」を目指して様々なことに取り組んで、結果として地域の活性化などにつながっていかねば、「本当にここ伊勢志摩の地で、サミットが行われて良かった」と思えるのではないのでしょうか。

私たちが企業としても、個人としてもこれからは本番と思っ、少しでも地域の発展に貢献できるよう、協力していく所存です。



無料家具固定 8月1日より受付開始

家具等の転倒・落下防止の対策

伊勢市では、大きな地震での家具の転倒や収納物などの落下による被害防止の為、自力で家具の固定をすることが困難と思われる高齢者等を対象として、次のとおり無料で家具の固定を行います。なお、募集数などに限りがございますので、お早めにお問い合わせいただくことをお勧めいたします。詳しくは伊勢市危機管理課、各総合支所地域振興課又は各支所まで。

※対象者

次のいずれかに該当する人だけで構成されていて、家具固定に立会できる世帯

- 65歳以上の人(平成29年3月31日までに65歳になられる方も含みます)
 - 身体障害者手帳・療育手帳の交付を受けている人
 - 母子家庭(扶養する子が平成28年3月31日時点で20歳未満の場合のみ)
- 注) これまでに市の無料家具固定を受けたことがある世帯は対象外です。

注) 借家の場合は、所有者の承諾が必要です。

(例) 一世帯の構成	可否
全員 65 歳以上	○
65 歳以上の方と 64 歳以下の方	×(注)1
全員 64 歳以下	×(注)1
65 歳以上の方と障害者手帳又は療育手帳所有者	○(注)1
全員障害者手帳又は療育手帳所有者	○
母子家庭(子供が 20 歳未満)	○
母子家庭(子供が 20 歳以上)	×(注)2

(注) 1 現在 64 歳でも平成 29 年 3 月 31 日までに 65 歳になられる方は【○】です。
(注) 2 平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までに 20 歳になられる方は【○】です。

※問合せ先 伊勢市危機管理課 0596-21-5523

※募集数 60 件(先着順)
注) 1 世帯につき 1 回、固定する家具は 3 台までです。

※申し込み方法

平成 28 年 8 月 1 日(月) ~ 平成 29 年 1 月 31 日(火)までに、印鑑を持参し、危機管理課・各総合支所地域振興課・各支所へ
* 決定後に施工業者が現場の下見を行います。現場の状況などによっては、家具固定ができない場合があります。

施工作品紹介

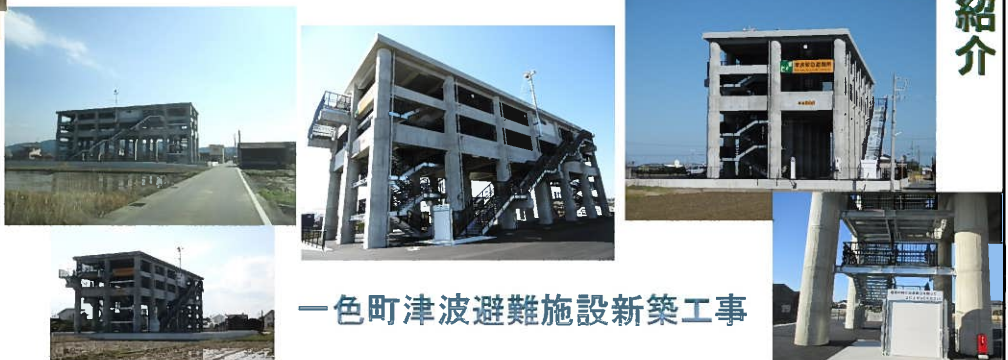
猿田彦神社御造営第二期工事



写真:Nacaca & Partners

猿田彦神社ホームページ
<http://www.sarutahikojinja.or.jp/>

一色町津波避難施設新築工事



編集担当より

今号では、伊勢市の高齢者等を対象にした無料家具固定について、記事にさせていただきました。紙面の都合上、伊勢市の取組みについての記事のみとなりましたが近年、弊社でも企業様、個人様問わず、書棚や家具等の固定をさせていただくことが非常に多くなっております。

いつも思うことですが、災害や天災はいつ起ころうとも不思議ではありません。普段からちよつとした備えをしておくことで、結果として大きな違いにつながると思えます。

編集担当

営業部長・奥野尚史